

**研究評価委員会**  
**「戦略策定調査事業」(中間評価) 事業評価分科会**  
**議事要旨**

日 時：平成 30 年 1 月 19 日 (金) 13:00～15:00  
場 所：岡山大学 研究推進産学官連携機構 知財本部  
日 時：平成 30 年 1 月 30 日 (火) 14:00～16:00  
場 所：株式会社 NTT データ経営研究所  
日 時：平成 30 年 2 月 5 日 (月) 13:30～15:30  
場 所：早稲田大学 研究戦略センター

出席者 (敬称略、順不同)

<分科会委員>

委員長 渡邊 裕 岡山大学 研究推進産学官連携機構 知的財産本部長 特任教授  
委員長代理 三谷慶一郎 株式会社 NTT データ経営研究所  
情報戦略コンサルティングユニット長  
兼 デジタルビジネスデザインセンター長  
委員 丸山 浩平 早稲田大学 研究戦略センター 教授

<推進部署>

尾花山 友哉 NEDO 技術戦略研究センター 調整課 課長代理  
下境 芳典 NEDO 技術戦略研究センター 調整課 主任  
石田 勝昭 NEDO 技術戦略研究センター 統括研究員 (環境・化学ユニット長)  
加藤 知彦 NEDO 技術戦略研究センター 研究員 (環境・化学ユニット)

<評価事務局>

坂部 至 NEDO 評価部 主査  
井出 陽子 NEDO 評価部 主任

議事要旨

日程の都合上、分科会は個別に委員と討議する形式で行われた。  
討議における主なコメントは以下の通り。

- ・プロジェクトになる手前で出てきた新しい技術シーズを先導研究という形で検証した上で大きなプロジェクトにもっていくという流れはとても良い。
- ・本事業の成果が部分的にでも 500 億円の研究開発につながるような戦略に繋がっているという流れはもっと強調してもよい。
- ・本事業の結果は部分的にでも TSC Foresight に繋がっており、最大の成果と思われる。
- ・トレンドにないテーマを引っ張り出してくるというのも、極めて重要な任務。調査結果から新しい流れ、新しいトレンドを生み出すために、セミナーを行うとか、セミナーを行った結果、シーズ技術がそこにあるのであれば、出口に向かってそのシーズを育てていくという流れが、NEDO の業務そのものである。

- ・ 10 個のテーマうち 3 つぐらいのテーマが次に進むという発想で良いので、何か **something new** を感じるようなテーマを生み出してほしい。
- ・ 研究開発をやっている機関でも、5年とか10年ぐらいのスパンで研究開発を行っており、短視眼的になっている傾向をたいへん危惧している。中長期の事業は必要である。
- ・ 中長期の事業に対しては、評価する上での悩みがあり、単純に短期の成果と言われても、そう簡単ではない。

#### 配布資料

資料1 研究評価委員会分科会の設置について

資料2 研究評価委員会分科会の公開について

資料3 研究評価委員会分科会における秘密情報の守秘について

研究評価委員会分科会における非公開資料の取り扱いについて

資料4-1 NEDOにおける制度評価・事業評価について

資料4-2 評価項目・評価基準

資料4-3 評価コメント及び評点票

資料4-4 評価報告書の構成について

資料5-1 事業原簿

資料5-2 事業原簿（非公開）

資料6 事業の詳細説明資料

資料7 今後の予定

以上